

# テレワークテル初期設定ガイド

## ●はじめに

本製品の初期設定はネットワークの知識が必要になります。

初期設定はネットワーク管理者がおこない、初期設定済み PC を社員が使用する運用をおすすめします。

## INDEX

<b>A: IP 電話機使用環境の初期設定</b> .....	<b>2</b>
A: ①本体の設置～初期設定	3
A: ②クライアント PC にインストールする	6
A: ③クライアント PC との接続設定をする	9
A: ご自宅での IP 電話ご利用方法	10
① 自宅に IP 電話機を設置する	10
② ZeroIP 接続 (リモート接続) をおこなう	11
<b>B: 電話アプリ使用環境の初期設定</b> .....	<b>12</b>
B: ①本体の設置～初期設定	13
B: ②クライアント PC にインストールする	16
B: ③クライアント PC との接続設定をする	19
B: ④ TWTPhone の設定をする	20
MAC アドレスを確認する	20
ホームゲートウェイの設定をする	21
電話アプリの設定をする	23
B: ご自宅で電話アプリのご利用方法	24
① ZeroIP 接続 (リモート接続) をおこなう	24
② 電話待ち受け状態にする	25
<b>困ったときには</b> .....	<b>26</b>

# A:IP 電話機使用環境の初期設定

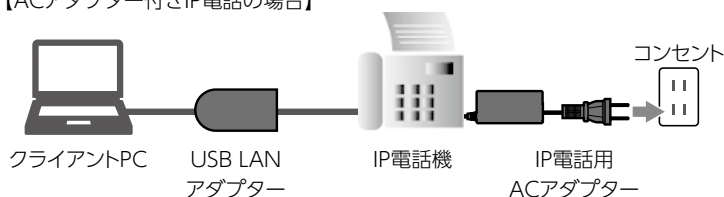
ご自宅では、別途ご用意いただいた IP 電話機で内線や外線を受けることができます。

※ご使用のパソコンの USB 給電性能が低い場合は音声品質に影響が出る場合があります。

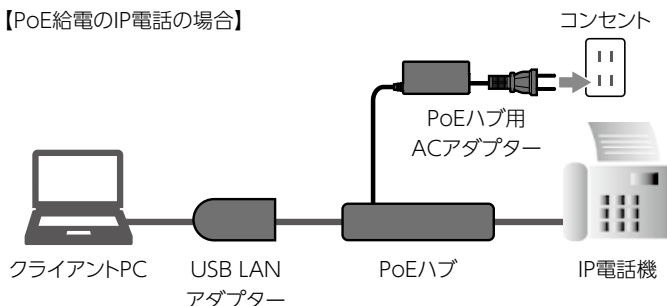
## ●ご自宅に必要な機材（別途用意ください）

- USB LAN アダプター ※弊社製 ETG-US5 など
- IP 電話機
- （必要に応じて）IP 電話機用 AC アダプター
- （必要に応じて）POE ハブ（AC アダプターが無い IP 電話機の場合）

### 【ACアダプター付きIP電話の場合】



### 【PoE給電のIP電話の場合】



## 設定の前にご確認ください

Wi-Fi 接続でクライアント PC をご利用になる場合は、下記の設定をおこなってください。

※下記の設定が表示されない場合は、設定の必要はありません。

- ① Windows マーク上で右クリックし、[設定] をクリック
- ② [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi] をクリック
- ③ [ランダムなハードウェアアドレスを使う] を [オフ] に設定する



「会社に PBX または主装置が設置されている場合（IP ブリッジ）」は、下記手順で初期設定をおこないます。

[【A: ①本体の設置～初期設定】（3 ページ）](#)



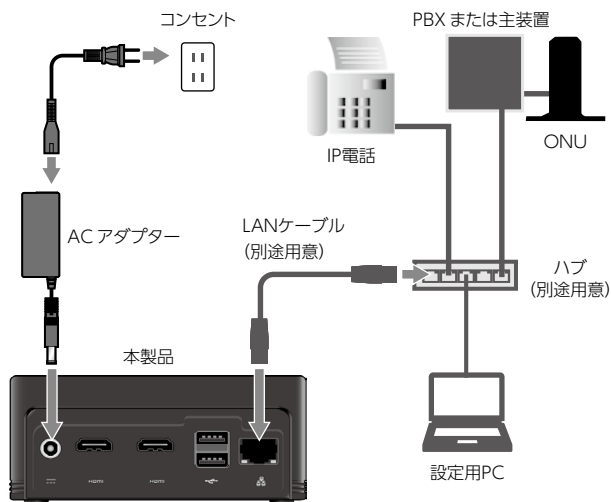
[【A: ②クライアント PC にインストールする】（6 ページ）](#)



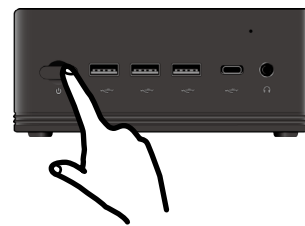
[【A: ③クライアント PC との接続設定をする】（9 ページ）](#)

# A: ①本体の設置～初期設定

## 1 社内環境に、本製品を接続する

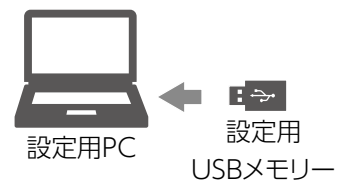


## 2 電源 (⏻) ボタンを押し、本製品を起動する →起動が完了するまで約 1 分お待ちください。



## 3 設定用 PC を起動し、添付の設定用 USB メモリーを設定用 PC の USB ポートに挿す

※ここでの設定用 PC は、クライアント PC 以外の PC でも問題ありません。



## 4 USB メモリーに保存されている [テレワークテル関連] → [テレワークテル本体画

🖱️ テレワークテル本体画面を開く

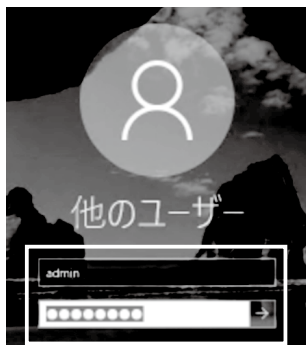
⇒リモートデスクトップ接続でテレワークテル本体に接続します。

## 5 Windows のログオン画面でユーザー名、パスワードを入力し、[Enter] を押す

ユーザー名 **admin**

パスワード **P@ssw0rd**

※パスワードの“0”は数字のゼロです。



## 6 [OK] をクリック



### 左の画面が表示されない場合

Windows のログオンパスワードを変更する必要があります。以下の手順にしたがってください。

① Administrator でログオンする

② キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す

※本製品にキーボードを接続している場合は、キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押します。

③ [パスワードの変更] をクリック

④ パスワードを設定する

「パスワードが変更されました」と表示されたら、手順9へお進みください。

## 7 テレワークテル本体の初期パスワードを変更する

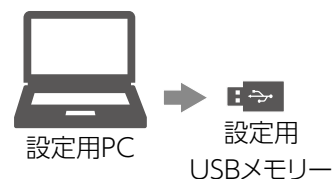
新しいパスワードを2か所入力し、[Enter] を押します。



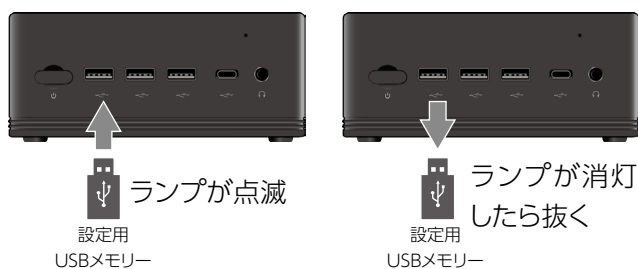
8 「パスワードが変更されました。」と表示されたら、[OK] をクリック



9 パソコンから設定用 USB メモリーを抜く



- 10 ①パソコンから取り外した設定用 USB メモリーをテレワークテル本体に挿す  
②設定用 USB メモリーのランプがいったん点滅して消灯することを確認する  
※ランプが点滅しない場合は、いったん取り外し、再度挿してください。  
③ランプの消灯を確認してから 10 秒ほど待って USB メモリーを抜く

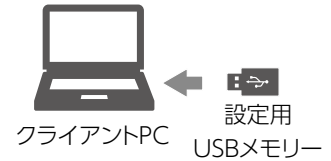


これで設定情報が正しく USB メモリーに保存されました。

次に [【A: ②クライアント PC にインストールする】 \(6 ページ\)](#) へお進みください。

# A: ②クライアントPCにインストールする

- 1 クライアントPCを起動し、設定情報を保存済みの設定用USBメモリーをクライアントPCのUSBポートに挿す



- 2 エクスプローラーを開き、設定用USBメモリー内「テレワーク関連」→「inst」をダブルクリック

⇒インストーラーが起動します。



- 3 計4つのアプリをインストールする

※1画面ずつ確認しながらインストールしてください。

The installation process consists of the following steps:

- Initial Screen:** Shows the product name and OS compatibility. The **次へ** (Next) button is highlighted.
- User Account Control:** Asks for permission to change system settings. The **はい** (Yes) button is highlighted.
- VPN Client Selection:** Offers to install 'SoftEther VPN Client' and 'SoftEther VPN Client Management Console'. The **次へ** (Next) button is highlighted.
- License Agreement:** Displays the license terms. The **はい** (Yes) button is highlighted.
- Installation Options:** Allows selecting installation files and checkboxes for 'チェックを入れる' (Check) and 'チェックを外す' (Uncheck). The **次へ** (Next) button is highlighted.
- Progress Bar:** Shows the installation progress. The text **インストール中... しばらくお待ちください** (Installing... Please wait) is displayed.
- Final Screen:** Confirms successful installation. The **完了** (Finish) button is highlighted.

次ページへ

## 前ページからのつづき 2つ目のアプリをインストールする

ユーザアカウント制御  
このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？

**VPN Software**

確認済みの発行元: SoftEther Corporation  
ファイルの入手先: このコンピュータ上のハードドライブ

はい  いいえ

インストールするソフトウェアの選択

**次は、VPN Bridge を選ぶ**

SoftEther VPN Bridge

SoftEther VPN ライバー管理マネージャ (管理ツールのみ)

「SoftEther VPN Bridge」は  
ブランチ別からインストールし、その異なる物理的な LAN にあるエドポイントからセンター拠点にある VPN Server を経由して通信できるようにするためにインストールしてください。管理ツールもインストールされます。

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C)

インストール規約の承認

使用許諾規約を確認してください

Copyright (c) all contributors to SoftEther VPN project in GitHub.  
Copyright (c) Dayuu Nobori, SoftEther Project at University of Tsukuba, and SoftEther Corporation.  
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");  
you may not use this file except in compliance with the License.

**チェックを入れる**

使用許諾規約を承認します

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C)

重要事項の承認

SoftEther VPN (このソフトウェア) は、強力な権利を保持し、いかなる種類の保証も提供されません。このソフトウェアは、このソフトウェアのインストールと使用を許可するものではありません。このソフトウェアのインストールと使用は、本ソフトウェアの利用規約に従って行う必要があります。このソフトウェアのインストールと使用は、本ソフトウェアのインストールと使用を許可するものではありません。このソフトウェアのインストールと使用は、本ソフトウェアの利用規約に従って行う必要があります。

SoftEther VPN に関する重要事項の承認

本ソフトウェア (VPN) は、本ソフトウェアのインストールと使用を許可するものではありません。このソフトウェアのインストールと使用は、本ソフトウェアの利用規約に従って行う必要があります。このソフトウェアのインストールと使用は、本ソフトウェアの利用規約に従って行う必要があります。このソフトウェアのインストールと使用は、本ソフトウェアの利用規約に従って行う必要があります。

**チェックを外す**

SoftEther VPN ライバー管理マネージャをインストールします

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C)

インストール先を選択

**上を選び、** チェックも無視しないでください

Program Files\SoftEther VPN Bridge

インストール先を変更(S)

**チェックを外す**

上欄の他のインストール先を選択(A)

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C)

インストール準備完了

SoftEther VPN Bridge のインストール準備が完了しました。  
「次へ」をクリックしてインストールを開始します。

<戻る(B) **インストール開始** >

**インストール中…  
しばらくお待ちください**

セットアップが完了しました

SoftEther VPN Bridge のセットアップ処理が正常に完了しました。

**チェックを外す**

SoftEther VPN ライバー管理マネージャをインストールします

SoftEther VPN は日本国特許庁発給の特許権のソフトウェア内蔵の構成要素です。IPA (独立行政法人 情報処理推進機構) のソフトウェア内蔵特許権に抵触する恐れがあります。詳しくは <http://www.ipa.go.jp/> をご覧ください。

<戻る(B) **完了** > キャンセル(C)

## 3つ目のアプリをインストールする

テレワークテイル 0.9.3.1 セットアップ

テレワークテイル 0.9.3.1 の使用許諾規約をお読みください

ソフトウェア利用規約

ソフトウェア利用規約 (以下「本規約」といいます) は、株式会社アイ・オー・データ機器 (以下「当社」といいます) が提供するソフトウェアの提供に際して、お客様と当社との間の権利義務関係を定めるものです。本規約の全文を本ソフトウェアのインストール時に提示いたします。本規約を承諾いただいたことにより、本ソフトウェアをご利用いただく必要がございます。本ソフトウェアをご利用いただく際は、本規約を必ずお読みください。本ソフトウェアをご利用の際は、本規約を必ずお読みください。

**チェックを入れる**

使用許諾規約を承認します

印刷(O) 戻る(B) **インストール(O)** キャンセル(C)

テレワークテイル 0.9.3.1 セットアップ

テレワークテイル 0.9.3.1 セットアップウィザードが完了しました

テレワークテイル 0.9.3.1 が正常にインストールされました。

**完了(F)** キャンセル(C)

## 4つ目のアプリをインストールする

I-O DATA Online Update

I-O DATA Online Update セットアップウィザードへようこそ

インストーラーは I-O DATA Online Update をインストールするために必要な手順を実行します。

この製品は、著作権に侵害されず、盗用されたものではありません。この製品の全部または一部を複製、複製、または無断で複製を禁止する著作権の侵害となりますのでご注意ください。

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C)

I-O DATA Online Update

ライセンス条項

ライセンス条項を確認し、以下の条件に同意される場合は「同意する」をクリックしてください。それ以外の場合は「キャンセル」をクリックしてください。

ソフトウェア利用規約

ソフトウェア利用規約 (以下「本規約」といいます) は、株式会社アイ・オー・データ機器 (以下「当社」といいます) が提供するソフトウェアの提供に際して、お客様と当社との間の権利義務関係を定めるものです。本規約の全文を本ソフトウェアのインストール時に提示いたします。本規約を承諾いただいたことにより、本ソフトウェアをご利用いただく必要がございます。本ソフトウェアをご利用の際は、本規約を必ずお読みください。本ソフトウェアをご利用の際は、本規約を必ずお読みください。

**同意する(A)**

同意する(A)

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C)

I-O DATA Online Update

インストールの確認

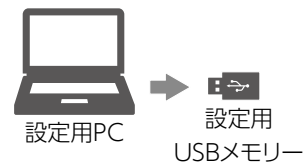
I-O DATA Online Update をインストールする準備が完了しました。  
「次へ」をクリックしてインストールを開始してください。

<戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル(C)

次ページへ



#### 4 クライアント PC から設定用 USB メモリーを抜く

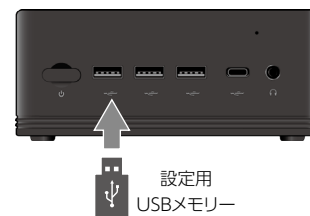


#### 5 取り外した設定用 USB メモリーを本製品に挿す

##### 設定用 USB メモリーの保管について

設定用 USB メモリーは無くさないように本体に挿しておくことをおすすめします。盗難の恐れがある場合は安全な場所に保管してください。

設定用 USB メモリーを他の場所に保管した場合で新しいクライアント PC を設定する際は、必ず一度テレワークテル本体に設定用 USB メモリーを挿し、設定用 USB メモリーのランプがいったん点滅して消灯したことをご確認の上抜いて、設定を開始してください。



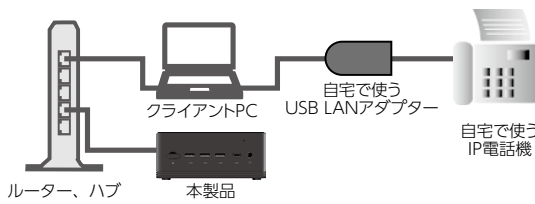
以上で、インストールは完了です。

次に [【A: ③クライアント PC との接続設定をする】 \(9 ページ\)](#) へお進みください。



# A: ③クライアントPCとの接続設定をする

- 1 クライアント PC を本製品と同じネットワークに有線 LAN 接続する  
ルーター、ハブと有線 LAN 接続します。



※ここでは、自宅で使用する USB LAN アダプターを接続しておいてください

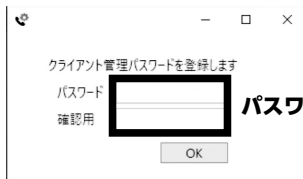
## 本設定は、ご自宅と同じ接続でおこないます

ご自宅で有線 LAN 接続する場合はここでも有線 LAN 接続してください。

本製品は有線 LAN 推奨ですが、ご自宅で Wi-Fi 接続する場合は、ここでは Wi-Fi 接続してください。

- 2 デスクトップにある [テレワークテル設定] をダブルクリック

- 3 [クライアント管理パスワード] を登録する



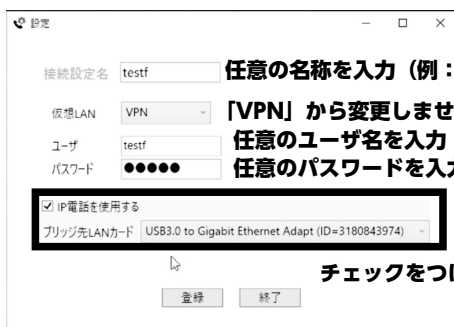
パスワード、確認用と同じものを入力

※半角英数字で入力してください。他のクライアントと重複しないようにご注意ください。

## クライアント管理パスワードについて

クライアント管理パスワードは、ZeroIP 接続時に使用しますので忘れないようにご注意ください。

- 4 設定を登録する



任意の名称を入力 (例:「会社ネットワーク」[XX 拠点への接続])

「VPN」から変更しません

任意のユーザ名を入力

任意のパスワードを入力

## 【ユーザ】【パスワード】について

ここでの【ユーザ】【パスワード】は、テレワークテル内部でシステムが使用するものです。後で入力することはありません。

チェックをつけて、IP 電話機をつなぐ USB LAN アダプターを選ぶ

※ここでは、運用時に使用する USB LAN アダプターをお選びください。

- 5 [OK] をクリック



## 登録できない場合

登録できない場合は、インストールに問題があった可能性があります。

詳しくは、[【困ったときには】\(26 ページ\)](#) をご覧ください。

以上でクライアント PC の初期設定は完了です。

ご自宅でのご利用については、次ページをご覧ください。

# A: ご自宅での IP 電話ご利用方法

## ① 自宅に IP 電話機を設置する

PBX または主装置設置環境の場合に、ご自宅で別途ご用意いただいた IP 電話機を下記のように接続してください。詳しくは IP 電話機の取扱説明書をご覧ください。

### ●ご自宅に必要な機材（別途用意ください）

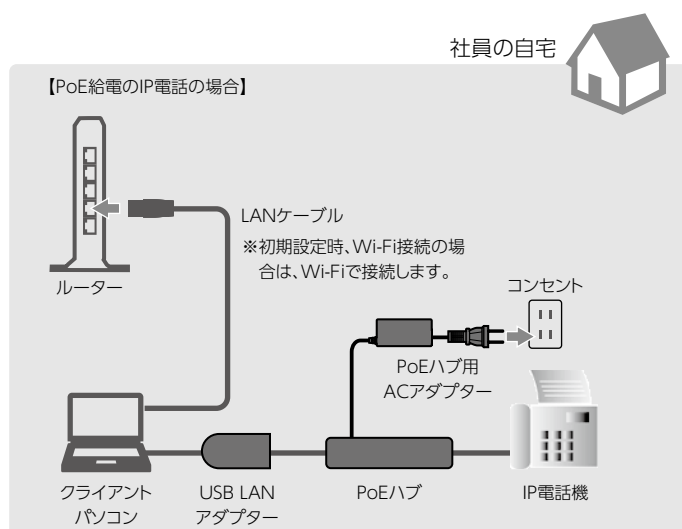
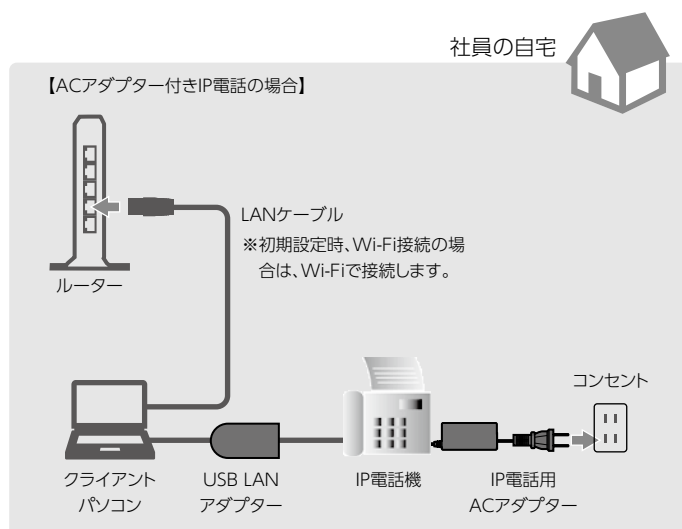
USB LAN アダプター

IP 電話機

▼下記は必要に応じてご用意ください。

IP 電話用 AC アダプター

(AC アダプターが無い IP 電話の場合) PoE ハブまたは PoE インジェクター



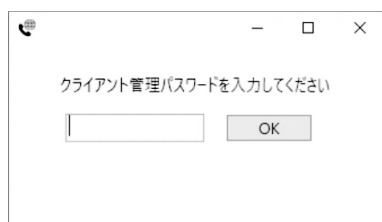
## ② ZeroIP 接続（リモート接続）をおこなう

ZeroIP 接続をおこなうと、クライアント PC から会社にあるサーバー等へのアクセスが可能になります。

1 デスクトップの [テレワークテル接続] をダブルクリック

2 [パスワード] を入力し、[OK] をクリック

※ [【A: ③クライアント PC との接続設定をする】\(9 ページ\)](#) で設定した [パスワード] を入力します。



3 [接続] をクリック



状態表示が [ZeroIP 接続中] となったら接続完了です。

接続を切る場合は [切断] をクリックしてください。

※画面右上の [x] クリックし画面を閉じる操作をおこなった場合も切断されます。

ZeroIP 接続中はこの画面を閉じないでください。



### スリープ状態では電話待ち受けできません

ZeroIP 接続中のパソコンがスリープ状態になると電話が不通になります。常に電話待ち受け状態にするためには、パソコンのスリープをオフに設定してください。

# B: 電話アプリ使用環境の初期設定

IP 電話機が無い場合は、ご自宅で専用電話アプリで内線や外線を受けることができます。クライアント PC の設定後、別途弊社製アプリ「TWTPhone」の初期設定が必要です。



**設定の前にご確認ください**

Wi-Fi 接続でクライアント PC をご利用になる場合は、下記の設定をおこなってください。

※下記の設定が表示されない場合は、設定の必要はありません。

- ① Windows マーク上で右クリックし、[設定] をクリック
- ② [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fi] をクリック
- ③ [ランダムなハードウェアアドレスを使う] を [オフ] に設定する

The screenshot shows the Windows Settings application. The 'Wi-Fi' section is expanded, and the 'Random hardware addresses' toggle is turned off. The toggle is highlighted with a red box.

【会社にホームゲートウェイが設置されている場合】は、下記手順で初期設定をおこないます。

[【B: ①本体の設置～初期設定】 \(13 ページ\)](#)



[【B: ②クライアント PC にインストールする】 \(16 ページ\)](#)



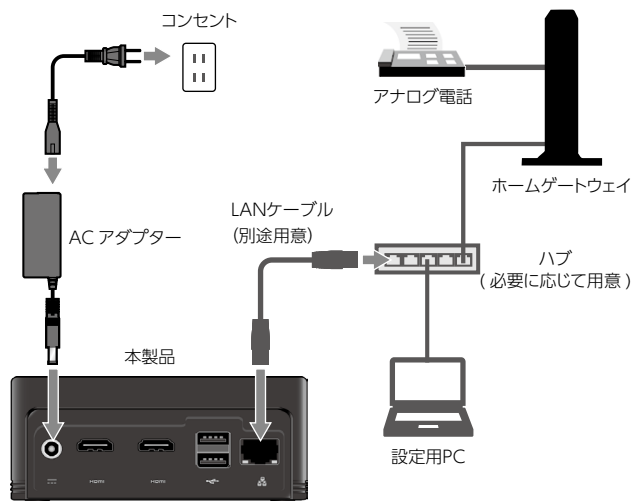
[【B: ③クライアント PC との接続設定をする】 \(19 ページ\)](#)



[【B: ④ TWTPhone の設定をする】 \(20 ページ\)](#)

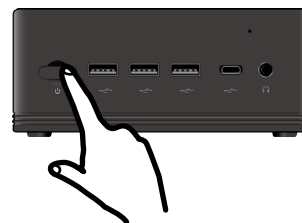
## B: ①本体の設置～初期設定

### 1 社内環境に、本製品を接続する



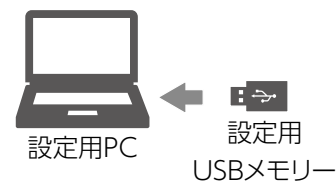
### 2 電源 (⏻) ボタンを押し、本製品を起動する

→起動が完了するまで約 1 分お待ちください。




### 3 設定用 PC を起動し、添付の設定用 USB メモリーを設定用 PC の USB ポートに挿す

※ここでの設定用 PC は、クライアント PC 以外の PC でも問題ありません。



### 4 USB メモリーに保存されている [テレワークテル関連] → [テレワークテル本体画面を開く] をクリック

 テレワークテル本体画面を開く

⇒リモートデスクトップ接続でテレワークテル本体に接続します。

## 5 Windows のログオン画面でユーザー名、パスワードを入力し、[Enter] を押す

ユーザー名 **admin**

パスワード **P@ssw0rd**

※パスワードの“0”は数字のゼロです。



## 6 [OK] をクリック



### 左の画面が表示されない場合

Windows のログオンパスワードを変更する必要があります。以下の手順にしたがってください。

① Administrator でログオンする

② キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す

※本製品にキーボードを接続している場合は、キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押します。

③ [パスワードの変更] をクリック

④ パスワードを設定する

「パスワードが変更されました」と表示されたら、手順9へお進みください。

## 7 テレワークテル本体の初期パスワードを変更する

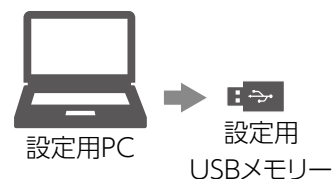
新しいパスワードを2か所入力し、[Enter] を押します。



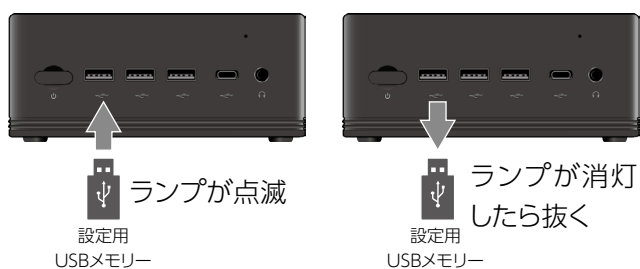
8 「パスワードが変更されました。」と表示されたら、[OK] をクリック



9 パソコンから設定用 USB メモリーを抜く



- 10 ①パソコンから取り外した設定用 USB メモリーをテレワークテル本体に挿す  
②設定用 USB メモリーのランプがいったん点滅して消灯することを確認する  
※ランプが点滅しない場合は、いったん取り外し、再度挿してください。  
③ランプの消灯を確認してから 10 秒ほど待って USB メモリーを抜く

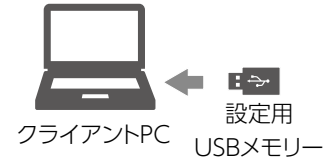


これで設定情報が正しく USB メモリーに保存されました。

次に [【B: ②クライアント PC にインストールする】 \(16 ページ\)](#) へお進みください。

# B: ②クライアント PC にインストールする

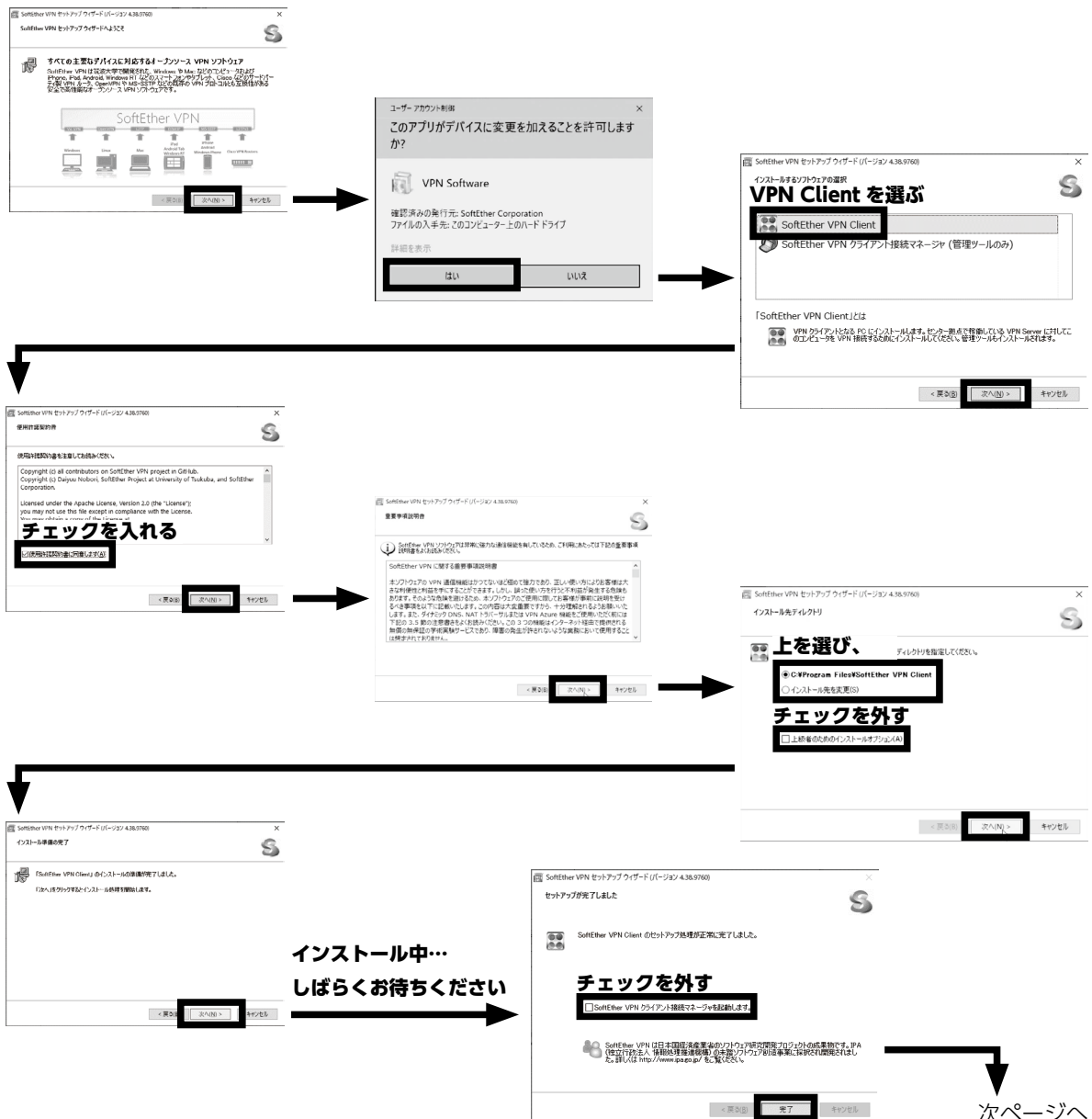
- 1 クライアント PC を起動し、設定情報を保存済みの設定用 USB メモリーをクライアント PC の USB ポートに挿す



- 2 エクスプローラーを開き、設定用 USB メモリー内「テレワークテル関連」→「inst」をダブルクリック  
⇒インストーラーが起動します。



- 3 計 4 つのアプリをインストールする  
※ 1 画面ずつ確認しながらインストールしてください。





前ページからのつづき  
2つ目のアプリをインストールする

ユーザアカウント制御  
このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？

VPN Software  
確認済みの発行元: SoftEther Corporation  
ファイルの入手法: このコンピュータ上のハードドライブ

はい いいえ

次は、VPN Bridge を選ぶ

SoftEther VPN Bridge  
SoftEther VPN サーバ - 管理ツール (管理ツールのみ)

「SoftEther VPN Bridge」には  
ランチャ画面にインストールします。この画面の物理的な LAN にあるエドユーターがセトルー画面にある VPN Server を指している前提でインストールしてください。管理ツールはインストールされません。

インストールするソフトウェアの選択

上を選び、  
C:\Program Files\SoftEther VPN Bridge  
インストール先を変更(S)

チェックを外す  
インストール先を変更(S)

インストール準備の完了

インストール準備の完了  
「SoftEther VPN Bridge」のインストール準備が完了しました。  
「SoftEther VPN Bridge」のインストール準備が完了しました。

インストール中…  
しばらくお待ちください

インストールが完了しました

SoftEther VPN Bridge のセットアップ処理が正常に完了しました。

チェックを外す  
SoftEther VPN サーバ - 管理ツール (管理ツールのみ) をインストールします。

SoftEther VPN は日本国特許庁の特許第 4702742 号の特許出願物です。IPA (特許庁) 特許第 4702742 号の特許出願物です。特許権の侵害を認めないことを保証するものではありません。詳しくは <http://www.softether.jp/> をご覧ください。

3つ目のアプリをインストールする

テレワーク用 0.9.3.1 セットアップ  
テレワーク用 0.9.3.1 の使用許諾契約書をお読みください

ソフトウェア利用規約  
ソフトウェア利用規約 (以下「本規約」といいます) は、株式会社 アイ・オー・データ機器 (以下「当社」といいます) が提供するテレワーク用のソフトウェアに関する条件、および当社と利用者との間の権利義務関係等を定めるものです。本ソフトウェアの利用に当たっては、本規約の全文をお読みください。本ソフトウェアをご利用いただく必要があり、本ソフトウェアをご利用いただく場合は、事前に本規約に同意する必要があります。

チェックを入れる  
使用許諾契約書に同意します

テレワーク用 0.9.3.1 セットアップ  
テレワーク用 0.9.3.1 セットアップガイドが完了しました

セットアップガイドを閉じます。終了 ボタンをクリックします。

4つ目のアプリをインストールする

I-O DATA Online Update  
I-O DATA Online Update セットアップガイドへようこそ

インストーラは I-O DATA Online Update をインストールするための必要な手順を表示します。

この製品は、著作権に關する法律と国際的協定に準拠して開発されています。この製品の全部または一部を無断で複製、転載、無断で複製を頒布すること、著作権の侵害を及ぼすことについて注目に値します。

ライセンス条項  
ライセンス条項を読み込み、以下の条件に同意される場合は「同意する」をクリックしてください。そうでない場合は「拒否」をクリックしてください。

ソフトウェア利用規約  
ソフトウェア利用規約 (以下「本規約」といいます) は、株式会社 アイ・オー・データ機器 (以下「当社」といいます) が提供するソフトウェアの利用に関する条件、および当社と利用者との間の権利義務関係等を定めるものです。本ソフトウェアの利用に当たっては、本規約の全文をお読みください。本ソフトウェアをご利用いただく場合は、事前に本規約に同意する必要があります。

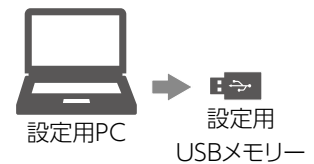
同意するにチェック  
同意する(A)

I-O DATA Online Update  
インストールの確認  
I-O DATA Online Update をインストールする準備が完了しました。  
[次へ]をクリックしてインストールを開始してください。

次ページへ



#### 4 クライアント PC から設定用 USB メモリーを抜く

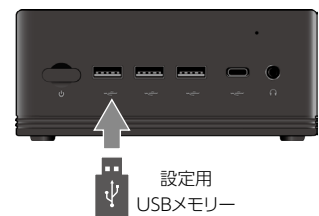


#### 5 取り外した設定用 USB メモリーを本製品に挿す

##### 設定用 USB メモリーの保管について

設定用 USB メモリーは無くさないように本体に挿しておくことをおすすめします。盗難の恐れがある場合は安全な場所に保管してください。

設定用 USB メモリーを他の場所に保管した場合で新しいクライアント PC を設定する際は、必ず一度テレワークテル本体に設定用 USB メモリーを挿し、設定用 USB メモリーのランプがいったん点滅して消灯したことをご確認の上抜いて、設定を開始してください。



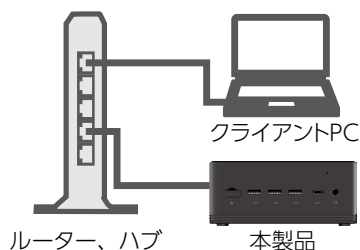
以上で、インストールは完了です。

次に [【B: ③クライアント PC との接続設定をする】 \(19 ページ\)](#) へお進みください。

## B: ③クライアントPCとの接続設定をする

### 1 クライアント PC を本製品と同じネットワークに有線 LAN 接続する

ルーター、ハブと有線 LAN 接続します。



※ここでは、自宅で使用する USB LAN アダプターを接続しておいてください

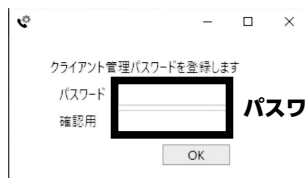
本設定は、ご自宅と同じ接続でおこないます

ご自宅で有線 LAN 接続する場合はここでも有線 LAN 接続してください。

本製品は有線 LAN 推奨ですが、ご自宅で Wi-Fi 接続する場合は、ここでは Wi-Fi 接続してください。

### 2 デスクトップにある [テレワークテル設定] をダブルクリック

### 3 [クライアント管理パスワード] を登録する



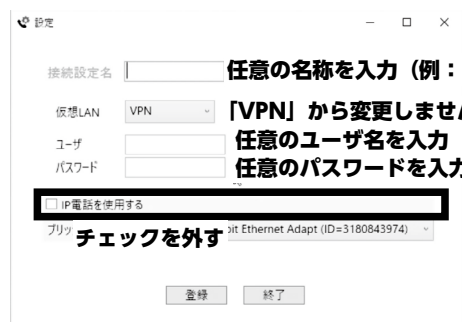
パスワード、確認用に同じものを入力

※半角英数字で入力してください。他のクライアントと重複しないようにご注意ください。

クライアント管理パスワードについて

クライアント管理パスワードは、ZeroIP 接続時に使用しますので忘れないようにご注意ください。

### 4 設定を登録する



任意の名称を入力 (例:「会社ネットワーク」[XX 拠点への接続])

[VPN] から変更しません

任意のユーザ名を入力

任意のパスワードを入力

[ユーザ] [パスワード] について

ここでの [ユーザ] [パスワード] は、テレワークテル内部でシステムが使用するものです。後で入力することはありません。

### 5 [OK] をクリック



登録できない場合

登録できない場合は、インストールに問題があった可能性があります。

詳しくは、[【困ったときには】\(26 ページ\)](#) をご覧ください。

以上でクライアント PC の初期設定は完了です。次に電話アプリの設定をおこないます。

[【B: ④ TWTPhone の設定をする】\(20 ページ\)](#) へお進みください。

# B: ④ TWTPhone の設定をする

ここでは初期設定完了後におこなう、電話アプリ「TWTPhone」の設定方法を説明しています。初期設定がお済みの後にご覧ください。西日本電信電話株式会社および東日本電信電話株式会社（以下、NTT）のホームゲートウェイの設定を含みます。

※ PBX または主装置が設置されている環境では「TWTPhone」は使用できません。

## MAC アドレスを確認する

ZeroIP 接続時に使用する LAN アダプターの MAC アドレスを確認します。

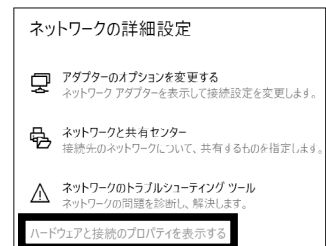
1 クライアント PC を起動し [スタート] → [設定] をクリック



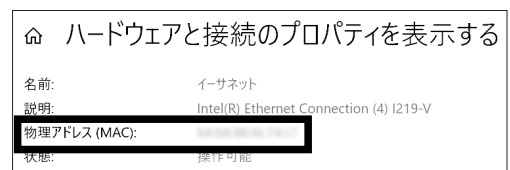
2 [ネットワークとインターネット] をクリック



3 [ハードウェアと接続のプロパティを表示する] をクリック



4 物理アドレス (MAC) をメモする



[状態] が [操作可能] となっている LAN アダプターの [物理アドレス (MAC)] の 12 桁の英数字が MAC アドレスです。

続けてホームゲートウェイの設定をおこないます。[【ホームゲートウェイの設定をする】\(21 ページ\)](#) へお進みください。

# ホームゲートウェイの設定をする

NTT のホームゲートウェイの内線設定をします。

※下記は一例です。設定の詳細は各ホームゲートウェイのマニュアルをご確認ください。

## 1 ホームゲートウェイの設定画面を開く

### ホームゲートウェイの設定画面の開き方

① Web ブラウザーを開き、URL 欄にホームゲートウェイの IP アドレスを入力して、[Enter] キーを押します。

※初期化時やデフォルト IP アドレスのままご利用の場合、ホームゲートウェイの LAN 側の IP アドレスは、「192.168.1.1」となります。

② ユーザー名とパスワードを入力します。

※ホームゲートウェイの IP アドレス、ユーザー名、パスワードについては、ホームゲートウェイの管理者にお問い合わせください。

## 2 左のメニューの [電話設定] → [内線設定] をクリック

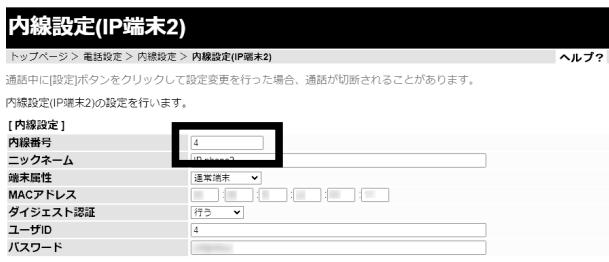


## 3 クライアント PC に割り当てる内線番号の [編集] をクリック



## 4 内線番号にそのクライアント PC が使用する内線番号を入力する

例) 「0004」となっている場合は「4」と修正します。



## 5 クライアント PC の MAC アドレスを入力

内線設定(IP端末2)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(IP端末2) ヘルプ?

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。  
内線設定(IP端末2)の設定を行います。

【内線設定】

内線番号 4

ニックネーム IP phone2

端末属性

MACアドレス 00 00 00 00 00 00

ダイジェスト認証

ユーザID 4

パスワード

## 6 ① [ユーザID] を修正する

例) 「0004」となっている場合は「4」と修正します。

② [ユーザID] と [パスワード] をメモし、[設定] をクリック

内線設定(IP端末2)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(IP端末2) ヘルプ?

通話中に[設定]ボタンをクリックして設定変更を行った場合、通話が切断されることがあります。  
内線設定(IP端末2)の設定を行います。

【内線設定】

内線番号 4

ニックネーム

端末属性 通常話機

MACアドレス

ダイジェスト認証

ユーザID 4

パスワード

【電話番号設定】

電話番号	通知番号	着信番号
	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

設定 戻る

これでホームゲートウェイの設定は完了です。

続けて電話アプリ「TWTPhone」の設定をおこないます。[【電話アプリの設定をする】\(23ページ\)](#)へお進みください。

## 電話アプリの設定をする

- 1 クライアント PC を起動し、①で設定情報を保存済みの設定用 USB メモリーをクライアント PC の USB ポートに挿す

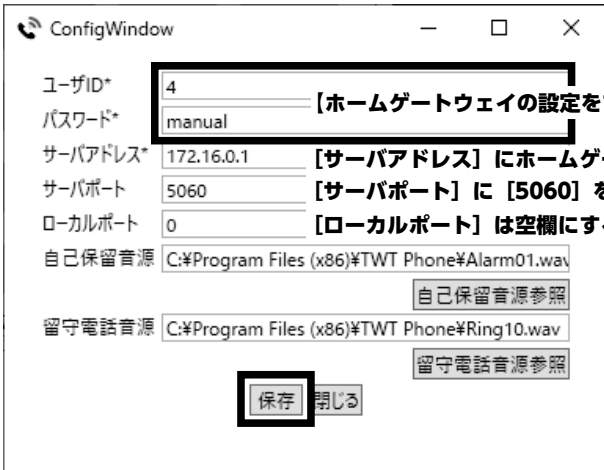


- 2 エクスプローラーを開き、設定用 USB メモリー内の「instTel」をダブルクリック  
⇒インストーラーが起動します。



- 3 画面の指示にしたがってインストールする

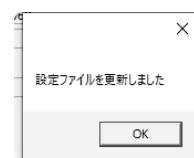
- 4 デスクトップにある [TWTPhone] をダブルクリック

- 5  ConfigWindow  
ユーザーID\* 4 【ホームゲートウェイの設定をする】手順6でメモした【ユーザーID】【パスワード】を入力  
パスワード\* manual  
サーバアドレス\* 172.16.0.1 【サーバアドレス】にホームゲートウェイのIPアドレスを入力  
サーバポート 5060 【サーバポート】に【5060】を入力  
ローカルポート 0 【ローカルポート】は空欄にする  
自己保留音源 C:\Program Files (x86)\TWT Phone\Alarm01.wav  
留守電話音源 C:\Program Files (x86)\TWT Phone\Ring10.wav  
保存 閉じる

### 【自己保留音源参照】【留守電話音源参照】について

- 【自己保留音源参照】では、保留時に流れる音源を選択できます。
- 【留守電話音源参照】では、留守電話時に流れる音源を選択できます。

- 6 [OK] をクリックする  
→5の画面に戻りますので【閉じる】をクリックすると、電話アプリが起動します。



以上で、設定は完了です。

設定用 USB メモリーは元の場所に戻し、大切に保管してください。

ご自宅でのご利用については、次ページをご覧ください。

# B: ご自宅で電話アプリのご利用方法

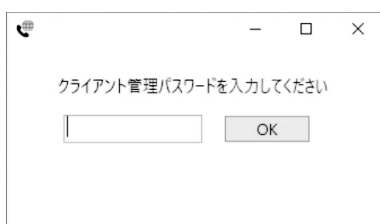
## ① ZeroIP 接続（リモート接続）をおこなう

ZeroIP 接続をおこなうと、クライアント PC から会社にあるサーバー等へのアクセスが可能になります。

1 デスクトップの [テレワークテル接続] をダブルクリック

2 [パスワード] を入力し、[OK] をクリック

※ [【B: ③クライアントPCとの接続設定をする】\(19 ページ\)](#) で設定した [パスワード] を入力します。



3 [接続] をクリック



状態表示が [ZeroIP 接続中] となったら接続完了です。

接続を切る場合は [切断] をクリックしてください。

※画面右上の [x] クリックし画面を閉じる操作をおこなった場合も切断されます。

ZeroIP 接続中はこの画面を閉じないでください。



### スリープ状態では電話待ち受けできません

ZeroIP 接続中のパソコンがスリープ状態になると電話が不通になります。常に電話待ち受け状態にするためには、パソコンのスリープをオフに設定してください。



## ② 電話待ち受け状態にする

クライアント PC の電話アプリ「TWTPhone」を起動し、電話待ち受け状態にします。

- 1 デスクトップの「TWTPhone」をダブルクリック  
→ TWTPhone が起動し、「ダイヤルできます」と表示され待ち受け状態になります。



TWTPhone の使い方については、下記の「TWTPhone」ヘルプをご覧ください。

<https://www.iodata.jp/lib/manual/twtphone>



# 困ったときには

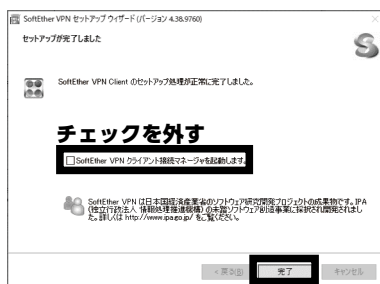
## 設定の登録が完了しない

インストールに失敗している可能性があります。いったんアンインストールして再度最初から設定をしてください。

アンインストールの方法については、下記弊社サポート Q&A をご覧ください。

<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s31224.htm>

再度インストールする際は、下の画面（2回表示されます）にてチェックを外してください。



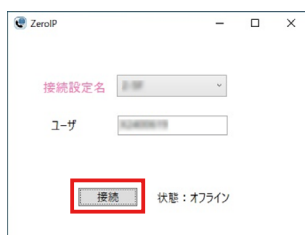
## テレワークテルで社外からアクセスする方法

①モバイルルーターへ Wi-Fi 接続します。

② Wi-Fi 接続が完了し、[接続済み] となったことを確認します。



③デスクトップの [テレワークテル接続] をダブルクリックし、パスワード入力して起動したら、[接続] ボタンをクリックします。



④ [ZeroIP 接続中] と表示されたら接続完了です。



これで、社内 LAN 接続時と同様に会社のファイルサーバー等をお使いいただけます。

### 【終了方法】

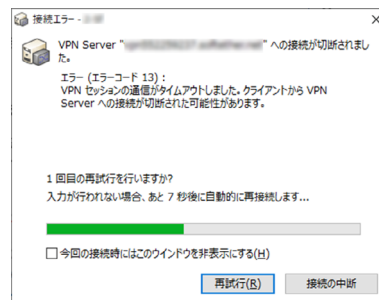
① [切断] ボタンをクリックします。

→ 10 秒ほど待つと「オフライン」と表示されます。

② 右上の [×] をクリックし、画面を閉じます。

## テレワークテルで社外から利用中に接続できなくなった

右図のように表示された場合、  
テレワークテル接続が一時的に切断され、  
再接続トライをしています。  
この画面が繰り返し表示されるときは、  
以下の操作をお試しください。

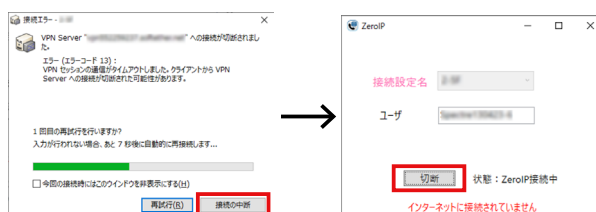


### 方法1：Wi-Fi 接続状態を確認します。

モバイルルーターへの Wi-Fi 接続が切れていた場合は、再度 Wi-Fi 接続し、上記画面が消えて接続が復活することを確認してください。

### 方法2：上記でも再接続できない場合は、以下をお試しください。

- ① [接続の中断] → [切断] をクリックし、  
右上 [×] でウィンドウを閉じます。



- ② モバイルルーターの電源を切/入して再起動します。

※スマートフォンのテザリングを利用している場合は、いったん「機内モード」を ON にして、10秒ほど待ってから OFF に戻します。

- ③ 再度 [【テレワークテルで社外からアクセスする方法】\(27 ページ\)](#) にしたがって  
接続をお試しください。

### 方法3：上記でも再接続できない場合は、以下をお試しください。

Windows を再起動してから、再度 [【テレワークテルで社外からアクセスする方法】\(27 ページ\)](#) にしたがって接続をお試しください。

## 設定用 USB メモリーを使用してクライアント PC にアプリをインストール後、ZeroIP 接続（リモート接続）ができない

下記手順にて本製品および設定用 USB メモリーが正常な状態かご確認ください。

### ①本製品の状態確認

1. クライアント PC を本製品と同じネットワークに有線 LAN 接続する
2. 設定用 USB メモリーをクライアント PC の USB ポートに挿す
3. 設定用 USB メモリー内の「テレワークテル本体画面を開く」をクリックする
4. ユーザー名 / パスワードに admin/P@ssw0rd と入力し、テレワークテル本体へログオン可能な状態か確認する

#### ログオンできない場合

ログオンできない場合は本製品正面の電源ボタンを 1～2 秒押し、本製品を再起動してください。

- ・電源ボタンを 3 秒以上押した場合、強制断となってしまいます。
- ・電源ランプが白点灯すれば起動状態です。起動してから約 1 分ほどお待ちいただいた後、再度ログオンをお試しください。

### ②設定用 USB メモリーの状態確認

1. クライアント PC を本製品と同じネットワークに有線 LAN 接続する
2. 設定用 USB メモリーをクライアント PC の USB ポートに挿す
3. 設定用 USB メモリー内の「serverConst.json」をクリックする
4. 本製品のネットワーク情報（Name に「vpn～」）が書き込まれているかを確認する

#### ネットワーク情報が書き込まれていない場合、下記手順にて確認してください。

1. テレワークテル本体の電源ボタンを 1～2 秒押しシャットダウンする  
※電源ボタンを 3 秒以上押した場合、強制断となってしまいます。
  2. 再度電源ボタンを押し起動する  
※電源ランプが白点灯すれば起動状態です。起動してから 1 分ほどお待ちいただいた後、再度ログオンをお試しください。
  3. 設定用 USB メモリーを挿し、設定用 USB メモリーのランプがいったん点滅して消灯することを確認する  
※ランプが点滅しない場合は、いったん取り外し、再度挿してください。
  4. ランプの消灯を確認してから 10 秒ほど待って USB メモリーを抜く
  5. 設定用 USB メモリーをクライアント PC の USB ポートに挿し、「serverConst.json」の Name に「vpn～」が書き込まれているか確認する
  6. 書き込まれている状態であれば、[こちらの【削除手順】](#)に沿ってアプリをアンインストール後、[【A: ②クライアント PC にインストールする】\(6 ページ\)](#)の手順でクライアント PC を再度設定する
- ※上記①②をお試しいただいても ZeroIP 接続ができない場合、テレワークテル本体の通信が遮断されている可能性がございます。本製品設置ネットワークから外部に行く通信（LAN → WAN）に対して、TCP：443、992、5555/UDP：5004 のポート開放をお試しください。

## テレワークテルのご利用にあたって必要なネットワーク環境条件

<会社側：テレワークテル本体を接続する>

- 光回線や CATV 回線で回線速度がベストエフォート 1Gbps 以上の契約回線であること
- IPv4 通信が可能であること  
(IPv6 契約でも v6 プラスなどの IPv4 over IPv6 を利用な契約であれば利用可能です。)
- VPN 通信 (VPN パススルー) の通過が許可されていること
- テレワークテル本体設置環境において、下記何れかまたは全てのポートの開放設定が必要な場合がございます。

### 【対象】

本製品 (テレワークテル本体の IP アドレス)

### 【開放するポート】

- ・ 443 (TCP)
- ・ 992 (TCP)
- ・ 5555 (TCP)
- ・ 5004 (UDP)

<社外側：クライアント PC を接続する>

- 光回線や CATV 回線で回線速度がベストエフォート 1Gbps 以上の契約回線であること  
(LTE/5G モバイルルーターで安定して高速通信可能であれば利用可能です。)
- IPv4 通信が可能であること  
(IPv6 契約でも v6 プラスなどの IPv4 over IPv6 を利用な契約であれば利用可能です。)